

和歌山版エコフィードの開発

畜産試験場養鶏研究所

[研究のねらい]

平成18年秋以降続く配合飼料価格の高騰が、養鶏農家の経営を大きく圧迫しており、早急な対策が現場より求められています。そこで、県内未利用資源(ご飯、麺)及び食品副産物(乾燥おから)を活用、市販配合飼料に直接配合できるエコフィード(採卵鶏用)を開発し、飼料費の節減を目指しました。

[研究の成果]

1. エコフィードを配合することにより、飼料費節減効果が認められます。(表1)
2. エコフィードを配合することにより、卵重が有意に低下します。(図1)
3. エコフィードを配合することにより、飼料要求率が有意に増加します。(図2)
4. 卵質検査においては、エコフィードを配合することによる生産物への影響は認めません。
5. エコフィードを配合することにより、エコフィードの成分である乾燥おからの濃度依存的に排糞量が増加します。(図3)
6. エコフィード10%配合区と対照区における官能検査(食味性)については、エコフィードを配合したことによる影響は認められません。

[成果の活用面・留意点]

1. 排糞量増加の影響が少なく、かつ1個あたりの卵重低下の影響が少ない、自家で洗卵選別を行いパックでの個別販売が中心の農家(主に小規模の農家)においては、飼料費を節減出来ます。
2. 卵重低下、飼料要求率・排糞量の増加が留意点となります。排糞量の影響がないのは10%までです。

表1 エコフィード配合を行った採卵鶏での飼料費節減効果

	1日飼料費差	年間飼料節減額
エコフィード10%配合区	2,650円	967,594円
エコフィード20%配合区	5,771円	2,106,600円

試算方法:飼養羽数1万羽 市販配合飼料価格53円/kg、エコフィード価格20円/kg

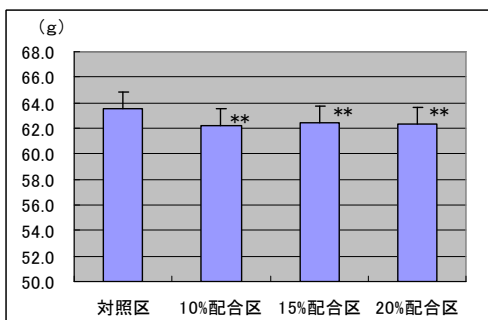


図1 エコフィード配合による平均卵重への影響 (**p<0.01)

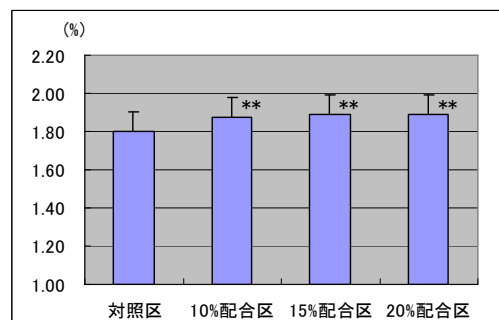


図2 エコフィード配合による飼料要求率への影響 (**p<0.01)

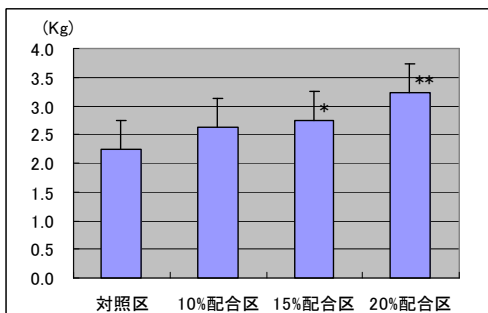


図3 エコフィード配合による排糞量への影響 (**p<0.01, *p<0.05)

方法: 830mm四方のアルミ板に約8羽分の3日間の糞を採取し、排糞量を測定

(問い合わせ先 0738-54-0144)